

2008～2009年度 国際ロータリーのテーマ  RI会長 李東建(韓国) 地区ガバナー 岩淵均(岩槻)	国際ロータリー第2770地区第10グループ 三郷中央ロータリークラブ Rotary Club of Misato Chuo weekly letter 会長 大井巳喜彦 幹事 見付春雄	例 会 7月22日(火) 第862回 例会場 KTTビル SAA 山下勝矢・千代田幸久 ロータリー特別月間 7月は無し
	発行 会報委員会 委員長 谷津茂男 副委員長 加藤英泉 委員 千代田幸久 事務局 海老原 美智子 TEL 048-953-7711 FAX 048-953-7070	
	今回より、会報に式次第を追加させていただきました。よって、次第にのっとり紙面を作成してあります。	
	第862回例会次第 1.開会 SAA 山下勝矢会員 1.点鐘 大井巳喜彦会長 1.「我らの生業」斉唱 1.会長挨拶 大井巳喜彦会長	

みなさんこんばんは。暑い中を例会出席ご苦労様でございます。大井・見付年度も今日で3回目の例会です。いろいろな勉強会が多く続いておりますが、行ってみますと出席者が多いです。ロータリー財団の部門セミナーに中村智英PPと一緒に行ってきましたが、当クラブで直接関係があるのは、西宮清夏さんが帰国報告の卓話をおこないました。素晴らしい卓話でした。今日はたっぷり卓話をお願いしたいと思います。3年前に財団に寄付した金額によってキックバックという形で1500ドルの地区補助金がありますので、申請したいと思います。三郷中央は優先順位が地区の中の20番以内に入っています。ガバナーが今年度、力をいれているなか、財団ポリオ委員会がありまして、全クラブが目標金額に達成するようお願いするとともに、82クラブでの卓話の実施目標をクリアするよう、年次寄付目標額がクラブ会員一人当たり200ドル、ポリオプラスが一人30ドルで合計230ドルの目標を達成するようにとのことです。西宮清夏さんについては、カナダからの帰国が6月ということで、帰国報告もしないままにお手伝いをお願いすることになってしまいましたので、後で卓話の方をよろしく願います。

1. 幹事報告 見付春雄幹事



本日のSAA担当
 山下勝矢会員と千代田幸久会員



本日のお弁当(担当 - 原口PP)



第862回幹事報告

1. 三郷市内関係からの報告
 第10回みさと阿波踊り開催のご案内
 日時 7月26日(土) 合同鳴り物演奏会(午後5時45分～午後6時)
 流し踊り(午後6時15分～午後8時45分)
 組踊り(午後6時30分～午後8時30分)
 女踊り勢揃い流し踊り
 フィナーレ

2. ガバナー事務所からの報告
 奉仕プロジェクト部門セミナーのご案内
 日時 8月29日(金) 点鐘 13:30
 会場 ラフォーレ清水園 登録料 一人 5,000円
 出席要請者
 会長 会長エレクト 幹事 奉仕プロジェクト委員長 職業奉仕委員長
 社会奉仕委員長 国際奉仕委員長

職業奉仕月間卓話のご案内(依頼)
 * 職業倫理委員会 テーマ 「職業奉仕の理念」「職業奉仕の倫理訓」
 * 健康保持増進委員会 テーマ メタボリックシンドローム 喫煙 うつ病
 老人介護問題 歯周病

岩手・宮城内陸地震災害義捐金のお願い

ロータリー情報委員会より インターネット速報 2008年7月15日 No342号

3. 我がクラブからの報告
 7月29日(火)の例会会場変更のお知らせ
 点鐘 18:30
 会場 三郷市商工会館2階
 当日は吉川警察署の署長が卓話をしてくださる予定です。

幹事報告書には記載されていませんが、会費の納入がまだの方は、早めに納入をお願いします。

1. 委員会報告

加藤英泉会員



書き損じはがきの感謝状など一式そろいましたので、区分けしてから会員の皆様にお渡ししますので、配っていただけますようよろしくお願いします。

1. 卓話者紹介

大井会長

財団松井冠名奨学生の西宮清夏さんです。プロフィールは東洋大学文学部を卒業し、三郷市役所総務部人事課に勤務され、2007～08年度派遣国際親善奨学生としてカナダのウエスタン・カーンカレッジに留学し6月15日に帰国しました。専攻分野は英語標準語で、現在英語の教員を目指しております。

1. 卓話 「帰国報告」

西宮清夏さん



みなさんこんばんは。今日から夏休み中のアルバイトを始めまして、市役所から頼まれて八木郷小学校の児童クラブで、夏休み中、学校に行く代わりに通ってくる生徒を、お世話をする仕事です。教員採用試験もありましたが、結果はまだです。今日、子供たちと遊んで、疲れたのですが、そのときロータリーの方々を思い出して、仕事が終わったあとに、このようにボランティアのことを話しあわれたりして、素晴らしいと感じました。ここに来ることが楽しみで、皆様からパワーをもらっている状況です。カナダのトロントでの9ヶ月の生活なんですが、私は今まで留学生生活をしたことが無かったんですが、教員も留学前にやっていたのですが、楽しい授業もしたことがないし、異文化交流もしたことがありませんでした。授業も英文法くらいしかできませ

んし、国際人としての子供たちを育てることができなく、英語をあきらめかけていたときにロータリーの方々に助けられて、とても良い19ヶ月間を過ごさせていただきました。二度と経験できない19ヶ月だと思っております。7月からは非常勤講師として前川中学校で勤務しております。そのとき子供たちに「カナダに行ってきたんだよ」と言うと、「すごいね先生。カナダってどういう国なの?」とすごく興味を示してくれて、良かったなと思いました。これで、自信をもって教師ができるかと確信がもて、うれしかったです。昨年の10月にカナダに行って、一ヶ月間は英語の訓練として英語を学んだのですが、一位でその課程を修了しました。その後に英語教授法を本格的に専門の事を学んでいくんですが、毎回毎回プレゼンテーションと、授業計画をやりました。理論的なことを実践的にし、いかに英語を話せるようになるかを学んできました。何回もプレゼンテーションをし、英語で授業をし、実践的なことを繰り返してやってきました。地元の小学校や幼稚園に教育実習にも行きました。そこでの出会いは素晴らしく、学校の先生が理解をしてくださり、そこで日本の文化を紹介する機会がありました。そこではじめに「よさこいソーラン」を紹介しました。なぜかと言うと、歌と音楽が一番いいかなと思い、はっぴとCDと太鼓を持ってやりました。あとは着物姿で盆踊りを披露しました。皆さん元気に踊ってくれました。すると、日本の事に興味をもって来て、「日本の食べ物は何が有名?」とか聞かれ、「日本に行きたい!」と行って来て、いい交流ができました。あと、折り紙を持って行ったので、山下清を説明し、みんなでちぎり絵をしました。そして、母の日だったので布でカーネーションを作りました。カナダのこどもは細かい作業が苦手らしく、いらいらして、「先生作って、先生作って」と言いましたが、むこうの先生もいらいらして、私が八人分の作業をしました。あとは遠足に行ったりし、子供たちと関わることが多かったです。帰国寸前まで、保護者会に呼んでいただきました。保護者会と言ってもパーティーでして、子供たちがどんな勉強をしたのかを見せ合う会です。子供たちの勉強の成果を見たり、食べ物を持ち寄りファミリーパーティーみたいでした。日本とカナダの学校の違いは、カナダには時間割が無いということですね。日本だと9時から10時まで国語と決めたら国語の授業をしますが、カナダではその日の流れできっちりとした時間配分がありません。第二言語にフランス語があり、それに興味があってカナダを選んだのですが、第一言語に英語を選択している人は、第二言語を選択するのが、とてもいやなようなんです。英語があれば世界中で通用するから、第二言語を学ぶ必要なんかはないと言ってました。

ロータリーの方々との交流の中では、最初にできた友達がサムという犬でした。日本の二次会と言えばみなさんカラオケをしますが、カナダではダンスパーティーでした。例会終了後は洋服を変えて、みんなで社交ダンスをします。私も誘われましたが、楽しくてよい経験になりました。カナダの挨拶はハグなのですが、申し訳なく感じました。私が恥ずかしがっているとそれを理解してくれて、「日本ではお辞儀なんですね」と言って受け入れてくださいました。

トロント大学のローターアクトにも関わりました。彼らはボランティア活動をするのですが、ハロウィンの時は各家庭を訪問してお菓子を貰う代わりに、缶の食べ物を貰いそれをフードバンクに寄付をして、貧しい子供たちに配りますし、障害を持っている子供たちのためにホテルでクリスマスパーティーを開催したりします。

留学してくる学生の中で、ロータリークラブを介して行くと、人のありがたみがよく解るようになりました。他の人とは違う経験ができ、感謝しています。

よさこいソーランのダンスチームを作ったら、韓国の人やメキシコの人も入ってくれて、最終的に30人くらいのチームができました。私が帰国後にパフォーマンスがあり、200人くらいの人が集まってくれたらいいです。チームのメンバーは日本人が多かったのですが、こういう形で日本を紹介できるとは思わなかったと言ってくださいました。

私が留学して変わったことが4つあります。1つめは人がすごく好きになりました。2つめは人との繋がりが大事に思えるようになったことです。3つめは、夢は強く持っていれば必ず叶うということです。4つめは、自分に自信がついたということです。この4つはこれからのわたしの教員生活を支えていくと思います。

この経験を生かして子供たちと接していく夢が3つあります。1つめは、自分の意見を言える子供たちを育てていきたいと思いましたが、大学生になると就活のときなど自分の意見がうまく言えずに、うつ病になってしまいます人が多い。カナダでも、「どうして日本人は自分の思っていることが言えないのか？」という質問もありました。カナダでは子供も積極的に発言の機会を得ようとするし、大人社会でも上司ともケンケンがくとした議論をします。2つめは、社会問題とか政治問題に関心を持つこともなくなってほしいということです。帰国後、日本人の無関心さを感じました。例えば街頭で配布しているティッシュなど、日本人はいらないときは無視して通過しますが、あちらではいらないときは、いらないと言い、相手もそれにたいしてちゃんと挨拶してきます。他人に対してきちっと関心を持つ必要性を感じます。関心を持っていたら先日発生した秋葉原事件なども起きなかったとも思います。3つめは、自分に自信がないと発信することが難しいと思いましたが。私の信念なのですが、自分に自信を持っていれば他人にぶつかれると思っています。そして、真剣にぶつかれば必ず帰ってくるということも、感じています。先日の報告会の後も、私のスピーチに対していろいろ意見をロータリーの人に言われました。「スピーチの内容は良いけれど、もっとまとめればいいね。前髪を上げたほうがいいね」とか。暗い印象を与えるから前髪を上げなさいとのこと。カナダの方が日本に対して持っている印象は、プロ意識が高いということ、自国の文化を大事にしているということでした。

西宮清夏さんの卓話は一部内容を割愛させていただいております。

1. クラブフォーラム「例会について」 3つのテーブルに分かれて意見交換をし、発表しました。

発表者 加藤地次会員

まず出席についての話し合いをしました。会員の意見としては
 自分は例会に出席することを前提にして予定を組んでいるので、欠席することが理解できない。
 もし出席できないのであれば、必ずメーキャップをしたほうがよい。
 貴重な時間を使って出席するのだから、卓話を取り入れてほしい。会員なら、身近な話でもよいと思う。
 各委員会は委員会報告をして活性化させたほうがよいのではないか。
 手続き要覧を会員はよく読んだ方がよい。
 メーキャップカードの使用についてどこまで正確にやっているのか、再確認の必要性がある。

発表者 千代田幸久会員

今年度、SAAは年間計画を立てて、実行しております。これからもよいと思ったことは実行していきたい。
 欠席するときは必ず事前に届けを出すべき。出席は全員の義務である。
 弁当がまずいとか文句を言わないでください。メリハリをつけて、いろいろなものを出していきたい。
 三郷中央のメンバーは平等です。他人にものを頼むときは、頭を下げるのが基本だと思う。

発表者 西宮清夏さん

カナダと三郷中央の例会の違いの話をしました。
 カナダでは例会の形式にとらわれない。テーブルでの雑談のようなものでした。みんなが参加している。
 ゲームとかビンゴをして、楽しみながらやっていた。
 出席率などの発表はなかった。

1. ニコニコBOX発表 千代田幸久SAA委員長



原口会員 美味しいお弁当有難うございました。	千代田幸久
連日の暑さで身体が、ばて気味です。しかしゴルフのスコアーは、良いですよ。	原口健作
暑いですね。水分補給をしましょう。	加藤英泉
西宮さん、暑い中有難うございます。カナダ留学、良かったですね。	加藤地次
西宮さん、今日は帰国報告ご苦労様です。今のうちに色々な体験をしてください。	宮田 博
本当に暑い中続きます。体調管理よろしくお願ひします。がんばりましょう。	見付春雄
西宮さん、カナダ留学の体験を生かしてこれから活躍して下さい。	大井巳喜彦
今日は、暑くて参りました。	酒井幸晴
西宮様 素晴らしい卓話 有難うございました。今度もう一度プロジェクターを使って写真を見ましょう。	田中欣一
その他ニコニコBOX協力者 中村智英 山下勝矢	
小計 15,000円	累計 120,000円

1. 出席報告 酒井幸晴出席委員長



例会	日付	会員数	出席数	欠席数	免除	M U	出席率
第862回	7月22日	25名	14名	9名	2名	0名	60.87%
第861回	7月15日	25名	16名	0名	2名	6名	100%
第860回	7月8日	25名	19名	0名	2名	4名	100%

欠席報告者 浅賀紀一会員 伊藤 隆会員 片野秀臣会員 牛尾克己会員 沖 良男会員
浜田一夫会員 岡田繁夫会員

次回例会予告

第863回例会 7月29日(火) 三郷市商工会館

ゲスト卓話 吉川警察署 中村 正署長 講演テーマ「管内の治安状況について」

米山功労者表彰 第10回 米山功労者「メジャーダー」



ロータリー用語 (ロータリー用語便覧より)

【会長エレクト(クラブ)】

クラブ会長はRC細則に従って会長に就任する日の直前18ヶ月以上2年以内にクラブ年次総会で選挙される。

会長ノミニーとなり、後任者が選挙で選ばれた後、会長エレクトの役職名が与えられる。

就任直前の1年間は理事会のメンバーとなる。

【クラブ会長】

クラブを統括し、クラブ会合及び理事会の会合において議長を務め、各委員会の職権上の委員となり付随する任務を行う。

【クラブ会報】

毎週、週報として発刊。この主な目的は

- (1) 出席への関心を刺激して出席率を高める。
- (2) 例会報告をする。
- (3) 親睦を図る。
- (4) 会員のロータリー情報に寄与する。
- (5) 次の例会のプログラムを載せる。
- (6) クラブの記録資料として保存する。
- (7) RIの情報などを載せること。